

# ハスキー



<ご注意> 下記の数値は弊社圃場内での事例であり、各地域によって最適な条件へ変更していただくようお願いいたします。

## 特徴

- ノーネットメロンの中でも溶質・芳香が強いハネデュータイプ。収穫時は緻密で香りがあり、日にちを置くことにより芳香を放ちとろけるような食感が得られる。
- 地這い栽培は子ヅル2本4果、立体栽培は子ヅル2本2果収穫で約1.6~2kgのやや腰高形。糖度は16~17度で高い。
- 草勢が強いため果実肥大が旺盛。また根が強いため高温期の栽培が可能。

### 栽培適期表

(近畿標準)

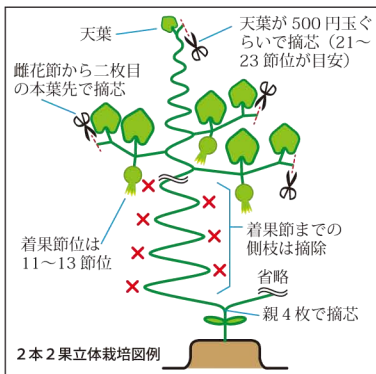
栽培型	月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ハウス栽培			●	●	●	●	●	●	●				
露地トンネル				●	●	●	●	●	●				
冷涼地ハウス					●	●	●	●	●				

記号説明 ●:播種 ×:定植 —:栽培期間 ■:収穫期間

## 栽培方法 (立体栽培)

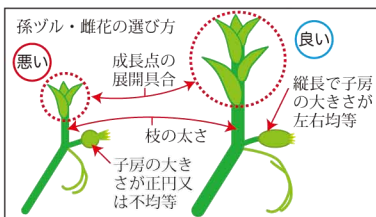
### <交配前>

株間 50 ~ 60 cm。施肥設計は N:P:K=10 ~ 12 kg : 15 kg ~ 20 kg : 10 ~ 15 kg を標準。高畝で排水を良くする。活着後は原則として灌水を抑えて根域を広げる。最低気温は 12 ~ 15 度、最高気温は 25 ~ 30 度までを目安とし日中は換気を行う。



2本2果立体栽培図例

上記のように交配は 11~13 節を交配し、一番良い雌花を 1 ツルに 1 果残し他の脇芽を摘除する。



### <交配期>

子ヅル 11 ~ 13 節付近の脇芽に雌花を確認後、成長点 (子ヅル先端) の摘芯を行う。その際、天葉 (摘芯した子ヅルの一番高い節位の葉) が 500 円玉程度の大きさが摘芯目安となる。その後、約 3 日後には雌花が開花するので交配を行う。交配は太く勢いよく着生した雌花へ行う。そのとき、交配した雌花から数えて 2 節目の本葉の先端を摘芯し同化転流を促す。

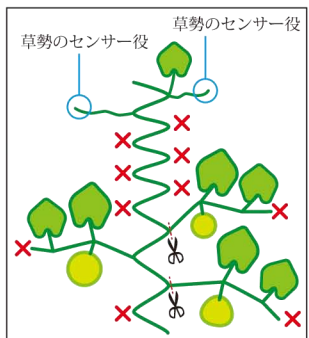
### <交配後の管理>

交配後 10 日 ~ 15 日ぐらいまでが天葉と雌花の生育が最も盛んになる時期であり、天葉と果実いずれも旺盛な生育をするのが望ましい。どちらかに生育の遅延がみられた場合は次のような対策を行う。天葉より果実の生育が遅延している場合は、果実の摘果を遅らせる。果実より天葉の生育が遅延している場合は葉面散布を行い天葉の生育を仰ぐ。

果実の摘果は子房が野球ボールの大きさぐらいが目安。

### <収穫まで>

天葉とその下位の節位から強く出る孫ヅル (遊びヅル) を 2 本残す。この 2 本の孫ヅルは草勢 (伸長具合) を確認するためのセンサー役とする。高糖度で高品質な青果を収穫するには、収穫までの草勢管理が重要。草勢管理の目安としては天葉付近の孫ヅル (遊びヅル) を指標とし、草勢が弱い場合は追肥を行い収穫日まで適切な草勢管理に努める。



7 月収穫では登熟日数は 43 ~ 45 日が目安だが下記 3 項目についても総合的に考慮して適期収穫を目指す。

### <完熟収穫目安の判断>

- ・果皮が鮮やかな白色に変わる。
- ・果実花落ちおよび頭頂部から果皮に小さな細かいひびが入る。
- ・ハネデューメロン系の甘い香りがしてくる。

